
一等星

ロースト

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

一等星

【Nコード】

N2807M

【作者名】

ロースト

【あらすじ】

願望、希望、勇気。あなたの傍へ、何時までも。輝いていたよ。君の傍で、誰よりも。

一等星

この星空、見上げて思った。

いま、あなたはこの空を見上げていますか。

私はあなたの星になりたい。

すぐ消えてしまってもいいから。

星になってあなたを元氣付けたい。

星になってあなたを照らしたい。

星になってあなたを見守っていたい。

あなたの笑顔を見たいから。

あなたを笑顔にしてあげたい。

あなたが孤独を感じる時、そばにいてあげたい。
でも、空を渡れない私はそばにいけないの。

あなたのことと思うと胸が熱くなるの。

会いたいと思ったとき、空を横切れない私は近くにいけないの。

もしできることならば、私は星になりたい。

孤独を感じるあなたに少しでも元氣になってもらいたいから。

私の元氣を分けてあげたいの。

孤独を感じるあなたに少しでも照らし出してあげたい、その生き様を。

君の進む道をいつでも正しく示したいの。

もし会えないでいた間にあなたがどんなに変わっていたとしても、この想いは絶対に変わることがない。
だから、私は星になりたい。

雨上がりの空に出る星は最高
いつも以上に照らしていて、雨の残りがきらきらとあちこちで光っている。

それを教えてくれたのは君だったよね。

もしあたしが星になれたなら、
私はきつと一等星になるよ。

君がわかりやすいように瞬き幾度もして。
悲しいときは空を見上げて。

星たちは元気づけるように、もっと輝くから。

あなたは何でも一人で抱え込む。

無理には聞かないけど、愚痴ならいくらでも言っ

私にはそばにいて聞いてあげることしかできないから。

もしできることならば、私は星になりたい。

一人抱え込むあなたに少しでも元氣になってもらいたいから。

私の元氣を分けてあげたいの。

一人抱え込むあなたに少しでも照らし出してあげたい、その生き様を。

君の進む道をいつでも正しく示したいの。

もし私が星になれたならば、
いつでもそばにいてあげる。

今はあなたを思うことしかできないけれど。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2807m/>

一等星

2010年10月11日18時26分発行